



こんにちは。
皆さんは「春うらら」
という言葉聞いたことはありますか？

「冬から春へ移り変わる時期」を指す、
まさに4月を表すような言葉。

新生活や環境の変化で
気が張り詰めることもあるかもしれませんが、
そんな時には春の晴れた空を眺めながら、
「春うらら」な
のどかな時間を過ごしてみるのも
いいかもしれませんね。

ただし、皆さんのお口の中に
次のような症状があった場合、
長く放置してしまうと、
歯の寿命が短くなる可能性
がありますので
注意が必要です。

◆**ケース 1.**
歯ぐきから出血している

歯ぐきからの出血は
数少ない「**歯周病**」のサインです。

歯周病は、進行すると、
歯を支えている骨が
いずれ溶けてしまう
恐ろしい病気です。

しかし、
自覚症状が少なく
なかなか自身では気づくことができません。

歯ぐきに出血が見られたら、
なるべく早めに検査をしましょう。

◆**ケース 2.**
歯がしみる

「歯がしみる原因」が「むし歯」だった場合、
「この時点で対処できるかどうか」で、
歯の寿命が左右される可能性があります。

むし歯が「歯の神経」にまで達してしまうと、
神経をとり除いたり、
抜歯する必要が生じたりするためです。



「知覚過敏」という可能性もありますが、
その判断はとても難しいので、
まずは歯科でチェックをしてもらうのが
おすすめです。

◆**ケース 3.**
つめもの・かぶせものが取れたまま

「つめもの」や「かぶせもの」といった
補綴物（ほてつぷつ）には
歯の保護や補強という役目があります。

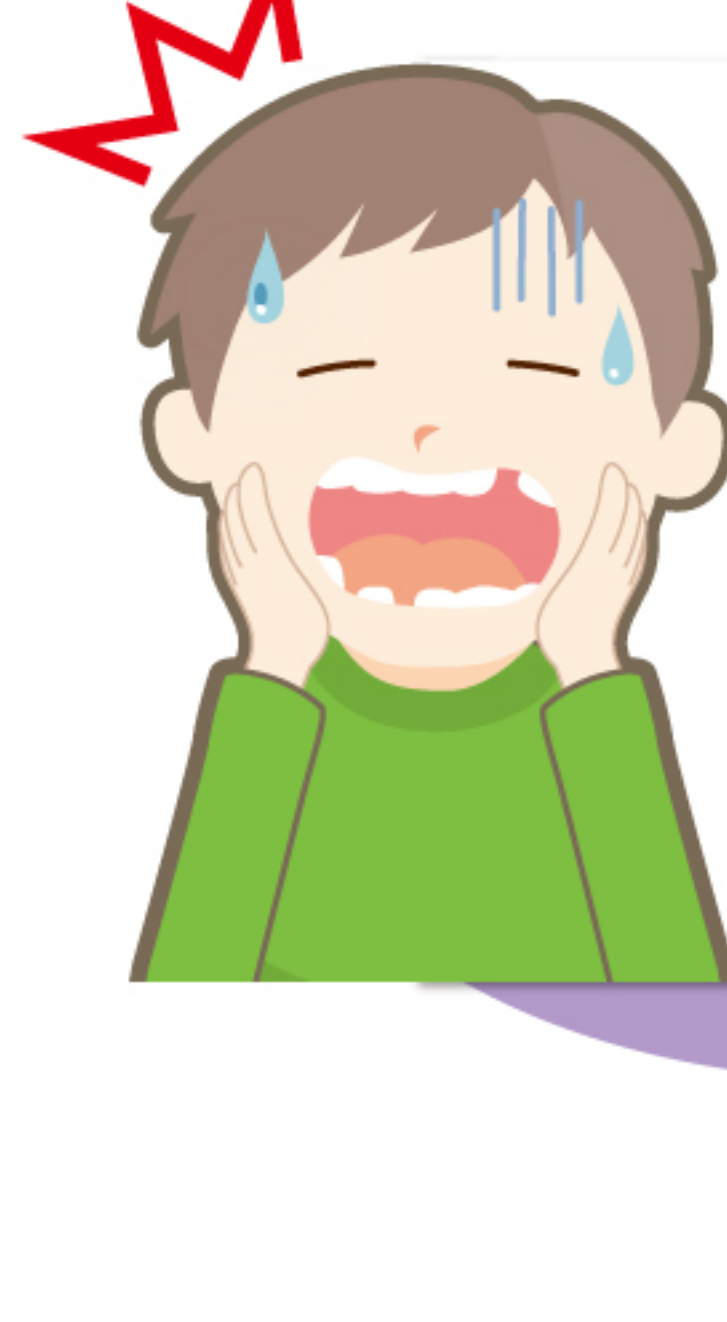
取れたままにしていると、
本来守るべきだった部分が
むき出しになっているため、
むし歯になりやすくなるばかりか、
歯が折れたり、割れたりしてしまうことも。

処置が遅れてしまうと
抜歯に至る場合もあります。

これらの補綴物が取れてしまった際には、
すぐに歯科へご相談ください。

ちなみに、
取れた補綴物をすぐに持って来ていただければ、
そのまま着け直せる場合もあります。

◆**ケース 4.**
歯が抜けたまま、または
入れ歯やブリッジが壊れたまま



- ・かみ合わせが悪くなる
 - ・歯並びが悪くなる
 - ・他の歯への負担が増える
 - ・最終的な治療費が増える
 - ・転倒リスクが高まる
 - ・認知症のリスクが高まる
- などなど

さまざまな
悪影響が…

このように、さまざまな悪影響がありますので、
絶対に放置してはいけません。

もしこのような状態でしたら、
今すぐに歯科に行き、処置を受けてください。

いかがでしたか？

上記4つのうち、
ひとつでも当てはまるものがあれば、
なるべく早く
歯科医院で診察を受けてください。

これからの一年を、
ぜひ健康的な日々をしていただければと思います！

SEE YOU
NEXT TIME

